

HIS ゴールデンウィーク 旅行予約動向 日並びの影響もあり海外旅行は4日間で行ける近場が人気

株式会社エイチ・アイ・エス（本社：東京都港区 以下、HIS）は、今年のゴールデンウィーク（2025年4月25日～5月6日、以下GW）の予約状況から、旅行動向について下記のとおりにまとめました。

【調査方法】

調査日：2025年3月24日

調査対象：HISにて対象出発日（2025年4月25日～5月6日）の旅行をお申込みの方

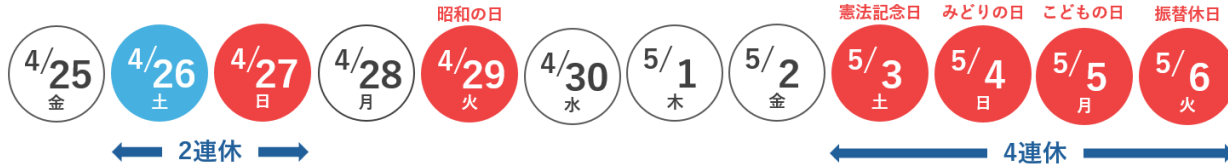
対象商品：HISのツアー、ダイナミックパッケージ、航空券（宿泊のみは除く）

※順位は調査日時点でのキャンセル数などを除いた予約人数から算出

市場環境

国連世界観光機関によると、2024年における国際観光客数はコロナ前の水準にまで回復しており、多くの観光地でコロナ前を上回っております。一方、日本政府観光局によると、出国日本人数は約1,300万人と、2019年比で約64.8%に留まるなか、訪日外国人数は過去最高の約3,600万人を超え、アウトバウンドとインバウンドに大きな差が生じております。為替相場の円安傾向を追い風に活性化するインバウンド需要や人件費の上昇により、日本国内、特に大都市圏における宿泊費の高騰が表面化してきております。

GW日並びの様子



今年のGWは土日・祝日の連休の日並びが悪く、平日3日間を挟み4月末と5月上旬に飛び石での休みとなります。

海外旅行

サマリー

- 予約者数における前年同期比は96.9%。日並びの悪さも影響し前年より3ポイント減。
- 平均単価は前年比ほぼ横ばいとなる100.5%の203,000円。
- 出国ピークは5月3日、帰国ピークは5月6日。後半の4連休を利用する旅行者が多い傾向。

海外旅行 予約者数ランキング

順位	旅行先（前年の順位）	順位	旅行先（前年の順位）
1位	ソウル（1位）	6位	香港（6位）
2位	台北（2位）	7位	シンガポール（8位）
3位	バンコク（4位）	8位	グアム（7位）
4位	ホノルル（3位）	9位	ケアンズ（16位）
5位	プサン（5位）	10位	セブ島（17位）

海外旅行予約者数全体では前年同期比で96.9%と、前年から3ポイント減となりました。今年は暦通りの休みの場合、最大で4連休と短く、近場の旅行先に人気が高く、長距離路線での最高位はパリの14位でした（前年7位）。旅行日程は、「4日間」の割合が全体の24.2%と一番多く、次いで「5日間」（16.5%）、「3日間」（13.4%）と、旅行者の半数以上（54.1%）が4日間前後での旅行を選択されております。

最も多い出発日は4連休の初日となる「5月3日」で、次いで「5月2日」が多く、帰国日としてはGW最終日となる「5月6日」、次いで「5月5日」となっており、今年のGWは後半の4連休を海外旅行に充てる傾向が高いです。海外旅行の平均単価は前年比ほぼ横ばいとなる100.5%の203,000円となっております。

順位の変動はあるものの、1位～8位までは前年と同じ旅行先が並びました。1位には3年連続でソウルが入りました。年代別で見れば「20代」が一番多く26.8%と、引き続き若年層から高い支持を得ております。9位、10位にはビーチを楽しめるケアンズ、セブ島がそれぞれ前年より大きくランクアップしました。それぞれコンパクトに観光ができ、短い日程でも満足度が高い旅行がしやすいことや、LCCが就航しており価格の選択肢が多いことなど、選ばれる理由にあげられます。

前年からの伸び率が急上昇した旅行先としては、昨年11月末よりビザ免除措置が適用された中国の上海が前年比262.3%と大きく伸びました。ツアーで見れば、市内観光と食事が付いた満喫プランや上海ディズニーリゾートのチケットが付いたプランが人気です。3位にはマドリードが入りました。マドリードだけでなくスペイン国内を周遊される方が多く、なかでも往路の到着空港がマドリード、復路の出発空港がバルセロナとする行程での予約が多くなっております。バルセロナにある世界遺産サグラダ・ファミリアは2026年に完成予定で、建設途中を見ることができ期間はあと僅かです。

海外旅行 急上昇ランキング

順位	旅行先（前年比）
1位	上海（262.3%）
2位	セブ島（165.7%）
3位	マドリード（165.2%）
4位	ケアンズ（157.3%）
5位	ダナン（152.8%）

国内旅行

サマリー

1. 予約者数における前年同期比は109.2%と好調。人気の旅行先は前年の傾向とほぼ変化は無し。
2. 平均単価は前年同期比97.9%の97,300円。
3. 出発ピークは5月3日。Uターンラッシュは5月5日。

国内旅行 予約者数ランキング

順位	旅行先（前年の順位）	順位	旅行先（前年の順位）
1位	沖縄県（1位）	6位	鹿児島県（6位）
2位	北海道（2位）	7位	大阪府（7位）
3位	長崎県（3位）	8位	島根県（9位）
4位	東京都（4位）	9位	広島県（8位）
5位	福岡県（5位）	10位	大分県（10位）

国内旅行予約者数全体では前年同期比で109.2%。平均単価は前年同期比97.9%の97,300円となっております。出発日としては海外旅行の動向と同様に4連休の初日となる「5月3日」が群を抜いて人気ですが、次いで「4月26日」、「4月27日」となっております。帰りは「5月5日」が最も多く、次いで「5月6日」となり、GW後半の2日間はUターンで混雑が予想されます。

上位10位までは順位もほぼ変わらず前年と同様の旅行先が並びました。いずれも、前年より予約者数が伸びる県が多いなか、4位の東京都はインバウンド需要の増加により、ホテルの宿泊費が高騰したことや取りづらくなったことも影響し、前年を割っております。千葉県、神奈川県が前年同期比で二桁増となっていることから、隣県を選ぶ方が増加したと考えられます。

前年からの伸び率が急上昇した旅行先としては、高知県が1位となりました。レンタカーを利用し四国周遊をする玄関口として、高知県から入る方が多くみられました。

国内旅行 急上昇ランキング

順位	旅行先（前年比）
1位	高知県（200.0%）
2位	大阪府（185.8%）
3位	熊本県（139.1%）

HIS GW 特集 <https://www.his-j.com/season/goldenweek/>

※データを引用する場合には、出典（HIS「2025年GW旅行予約動向」）の表記をお願いします。